



## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 琵琶湖	琵琶湖は日本最大の湖で、滋賀県の面積の約6分の1を占めています。湖の形が楽器の琵琶に似ていることから名付けられました。周囲の山々から多くの川が流れ込み、唯一の流出河川である淀川へとつながっています。
問2	答え 3 みかん	特に日照時間が長い斜面を利用した段々畑での栽培が盛んです。果実が日光をしっかりと浴びることで、糖度が高く良質なみかんが育ちます。このため、日本でも屈指の産地として有名です。
問3	答え 2 日本海	冬になると、大陸からの冷たい季節風が日本海の上で水蒸気を取り込み、山地にぶつかることで、北側の地域に多くの雪を降らせます。このため、北部の但馬地方などは非常に雪深い地域となります。
問4	答え 1 断層湖	「断層湖」とは、地殻の断層運動に伴って地盤が沈下したり、隆起したりしたことで形成された窪地に水が溜まってできた湖のことです。琵琶湖は数百万年以上前から存在する「古代湖」の一つであり、その形成には激しい断層活動が深く関わっています。
問5	答え 2 紀伊山地の霊場と参詣道	「紀伊山地の霊場と参詣道」は、吉野・大峯、熊野三山、高野山の3つの霊場と、そこに至る参詣道から構成されます。自然と信仰が一体化した文化的景観が評価され、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問6	答え 1 大阪国際空港	大阪国際空港は、通称「伊丹空港」とも呼ばれます。かつては国際線の中心でしたが、現在は主に国内線の拠点として利用されています。滑走路が住宅街に近いという特徴があるため、騒音対策などの環境への配慮が重視されてきました。
問7	答え 2 伊勢神宮	伊勢神宮は、皇室の祖神である天照大御神をまつる「内宮」と、衣食住の神をまつる「外宮」などを中心とした神社の総称です。特に江戸時代には「お伊勢参り」が大ブームとなり、全国から庶民が訪れました。広大な森の中に社殿が建てられており、日本の伝統的な建築様式である「唯一神明造」で知られています。
問8	答え 3 淀川	琵琶湖から流れ出す唯一の河川が淀川です。滋賀県から京都府、大阪府を通り、大阪湾へと注ぎます。古来より流域は豊かな穀倉地帯であり、現代では京阪神都市圏の数百万人に及ぶ人々の生活用水や工業用水を供給する「命の水」として非常に重要な役割を担っています。
問9	答え 3 琵琶湖	「琵琶湖」は滋賀県にある日本最大の湖です。その広大な面積は、周辺の気候を穏やかに保つ働きもあります。琵琶湖から唯一流れ出る川が淀川であり、琵琶湖は近畿地方の人々の生活用水や工業用水、農業用水を供給する重要な水源として「近畿の水がめ」と呼ばれています。
問10	答え 4 古都奈良の文化財	東大寺や法隆寺（正確には法隆寺地域の仏教建造物として別枠）、興福寺など、奈良市を中心とした歴史的な寺院や遺跡をまとめて指す名称です。平城宮跡などもここに含まれます。
問11	答え 4 淀川	琵琶湖から流れ出る瀬田川が、宇治川、桂川、木津川と合流して「淀川」となります。滋賀県から京都府を通り、大阪平野を抜けて大阪湾に注ぎます。流域には大都市が密集しているため、これらの住民にとって貴重な飲料水や生活用水を供給する重要な川となっています。
問12	答え 2 水運	「水運」とは、河川や湖、海を船で通って人や物を運ぶ交通方法のことです。淀川は、京都と大阪を結ぶ主要な大動脈であり、上方（京都・大阪）の物産を運ぶための重要なルートとして、多くの高瀬舟などが往来しました。米や酒などの特産品がこの川を通して運ばれたことで、流域は経済的に大きく発展しました。
問13	答え 4 過疎化	「過疎化」とは、人口の流出や減少により、地域の住民の生活水準や社会的機能が低下していく現象です。特に紀伊山地のような険しい山間部では、若い世代の流出が激しく、高齢者の割合が高まることで、集落の維持やインフラの管理が難しくなっています。
問14	答え 2 ベッドタウン	交通網の発達に伴い、都市郊外や周辺自治体に大規模な住宅団地が作られました。夜は家で眠り（ベッド）、日中は都市部へ働きに出るという生活圏が定着したため、このように呼ばれるようになりました。
問15	答え 1 多雨	「多雨」とは、年間降水量が非常に多い気候の状態を指します。紀伊山地は険しい地形とこの多雨な気候の影響で、古くからスギやヒノキなどの良質な木材を育てる「林業」が発達してきました。